

目次

機材の準備	3
パッケージ内容	4

機材の準備

XG-50 の開発には、別途

- 電源 (3V入力)
- JTAG(SWD)アダプタ ([STMicroelectronics ST-LINK/V2](#))
- JTAGピンピッチ変換ケーブル ([Olimex ARM-JTAG-20-10](#))
- 内部コンソール接続用ケーブル ([TTL-232R-RPI^{1\)}](#))

が必要となります。





もしお持ちでない場合、上記をセットにした『FutureNet XG-50スタートパッケージ』を用意しています。

パッケージ内容

- XG-B50 メインボード
- ACアダプタセット(変換ケーブル・ACアダプタ)
- デバッグプログラマ(ST-LINK/V2)
- デバッカ変換ケーブル(Olimex ARM-JTAG-20-10)
- 内部コンソールケーブル(TTL-232R-RPI)
- 安全にお使いいただくために (文書)
- はじめにお読みください (文書)
- 保証書

1)

外部の D-SUB9 をコンソールに使用すれば、とりあえずは無くても使うことは可能です

From:

<https://www.centurysys.jp/> - MA-X/MA-S/MA-E/IP-K Developers' Wiki

Permanent link:

https://www.centurysys.jp/doku.php?id=xg_series_devel:prepare equipments:start

Last update: 2020/06/30 10:52



